

ETC 多目的利用サービス試行運用の開始について

～ごみ処理施設では全国初～

建設を予定している新一般廃棄物処理施設整備事業での、ETC 多目的利用サービス（ETCX）導入による効果を検証するため、クリスタルプラザ（現焼却処理施設）において、表1の試行運用参加事業者との協働により、ETCXの試行運用を実施することになりましたので、お知らせします。

ETC 多目的利用サービスとは

駐車場など高速道路以外の施設でETC技術を活用して料金支払いなどができるサービスのこと。『ETCX（イーティーシーエックス）』は、ETCソリューションズ株式会社が提供しているETC多目的利用サービスの名称。

表1 試行運用参加事業者

事業者名	主な役割
ETCソリューションズ株式会社	ETCX サービス提供
沖電気工業株式会社	民間利用のETCアンテナ開発
中日本高速道路株式会社	ETC情報の情報処理
株式会社メイテツコム	各ETC対応システム機器の連携システム構築
クリーンワーク株式会社	試行運用モニター（センター許可業者）
湖北広域行政事務センター	試行運用場所の提供、運用

1. 目的

ETC多目的利用サービスの導入により、キャッシュレス化による利便性の向上や、精算・計量時の時間短縮による生産性の向上、および接触機会の低減による新型コロナウイルスへの感染予防などの効果が考えられます。

試行運用では、導入にあたっての一連の技術面・運用面の検証に加え、上記効果について測定を行うことを目的としております。

2. 試行運用の要点

場所	クリスタルプラザ（滋賀県長浜市八幡中山町 200 番地）
期間	令和 3(2021)年 12 月 1 日（水）～令和 4(2022)年 3 月 31 日（木）
対象	クリスタルプラザに搬入を行うクリーンワーク株式会社の車両
運用内容	上記車両のごみ搬入手数料の徴収方法を後日の振込払いから、ETCカード決済による徴収とする試行運用を行う。

【ごみ焼却処理施設における ETC 多目的利用サービスの活用（概要図）】

